

PrintSuperVision
MultiPlatform Edition

インストールマニュアル

株式会社 **沖データ**

目 次

1 はじめに	3
2 動作環境	4
3 インストール手順 (Windows)	5
4 インストール手順 (Linux, Solaris)	14
6 削除 (アンインストール) のしかた (Linux, Solaris)	23
7 既知の問題 / 解決方法	24

1 はじめに

本書は、PrintSuperVision MultiPlatform Edition のインストールマニュアルです。

PrintSuperVision MultiPlatform Edition は、ネットワークにつながっているプリンタや複合機を管理するための Web ベースアプリケーションです。

本書では以下、PrintSuperVision MultiPlatform Edition を PSV ME と略記します。

PSV ME でできること

- ネットワークに接続されたプリンタや複合機を検索することができます。
- 複数のプリンタや複合機に対して設定情報の参照や再設定を行うことができます。
- プリンタや複合機のトナー不足や用紙切れ、部品の寿命などの状態を監視し、警告メールを発信することができます。
- プリンタや複合機の消耗品を交換した時期の記録を取り、交換が必要な時期の予測を行うことができます。
- トナーや交換部品の消耗状況、印刷枚数などの統計情報を得ることができます。
- PSV ME は Windows、Linux、Solaris などの各 OS にインストールして動作させることができます。

(注意)

- ・このマニュアルではインストール方法を説明しています。操作方法については「PrintSuperVision MultiPlatform Edition 操作マニュアル」をご覧ください。
- ・「PrintSuperVision MultiPlatform Edition 操作マニュアル」は、沖データホームページから入手できます。
- ・アプリケーションについての補足情報に関しては、オンラインヘルプをご覧ください。
- ・個々のプリンタや複合機及びプリントサーバのより詳細な情報については、それぞれのユーザーズガイドをご覧ください。

表記について

本書では、次のように表記している場合があります。

- Sun Java System Application Server Platform Edition9 → SunAS9
- Windows operating system の総称 → Windows
- Linux operating system の総称 → Linux
- Unix operating system の総称 → Unix
- Solaris operating system の総称 → Solaris

商標について

記載されている会社名、製品名は、各社 / 各人の登録商標または商標です。

2 動作環境

PrintSuperVision をインストールするコンピュータ

- Red Hat Enterprise Linux 5
- openSUSE 11.0
- openSUSE 11.1
- openSUSE 11.2
- Novell SUSE LINUX Desktop 11
- Novell SUSE LINUX Enterprise Server 11
- TurboLinux 11 Server
- Sun Microsystems Solaris 9 (x86)
- Sun Microsystems Solaris 10 (x86)
- Sun Microsystems Solaris 9 (UltraSPARC)
- Sun Microsystems Solaris 10 (UltraSPARC)
- Microsoft Windows 2000
- Microsoft Windows XP
- Microsoft Windows Server 2003
- Microsoft Windows Vista
- Microsoft Windows Server 2008
- Microsoft Windows Server 2008 R2
- Microsoft Windows 7
- Sun Java System Application Server Platform Edition9 がインストールされているコンピュータ
または、インストール可能なコンピュータ
- TCP/IP で動作するコンピュータ

PrintSuperVision にリモートでアクセスするコンピュータ

- 以下のブラウザのうちのいずれかがインストールされているコンピュータ
 - Microsoft Internet Explorer Ver 5.5 以上
 - Microsoft Internet Explorer for PocketPC2002 以上
 - Firefox Ver 1.0 以上
 - Safari Ver 1.1 以上
- TCP/IP で動作しているコンピュータ

(注意)

- PSV ME アプリケーションは、上記のブラウザがサポートするどの Windows、Macintosh、Unix、Linux デスクトップからでもアクセスすることができます。
- お使いのブラウザのキャッシュ機能を無効にすると安全です。
- PSV ME は通信のためにポート 25 (SMTP)、110 (POP3)、995 (POP3S)、161 (SNMP)、162 (SNMP-Trap)、8080 (HTTP)、1043 (HTTPS)、及び 50702 (PrintSuperVisor [デーモン]) を使用します。お使いの環境のファイアウォールはこれらのポートに対するアクセスを許可する設定がなされている必要があります。
- PSV ME のインストールプログラムは、256 色 800x600 の解像度以上の能力を持つビデオアダプタが必要です。
- アプリケーションについての補足情報に関しては、オンラインヘルプをご覧ください。
- PSV ME は PrintSuperVision 1.2.x と互換性はありません。

3 インストール手順 (Windows)

1. setup.exe ファイルをダブルクリックして、セットアップ起動プログラムを実行します。
しばらくすると下の画面が表示されるので、[次へ] をクリックします。

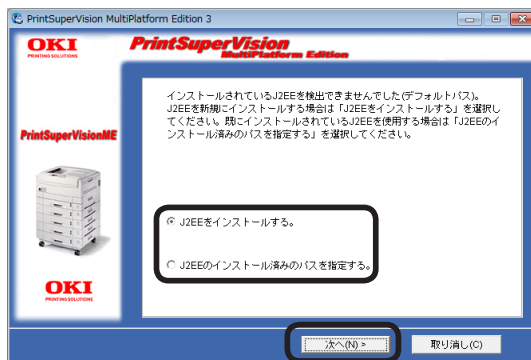


2. [次へ] をクリックします。

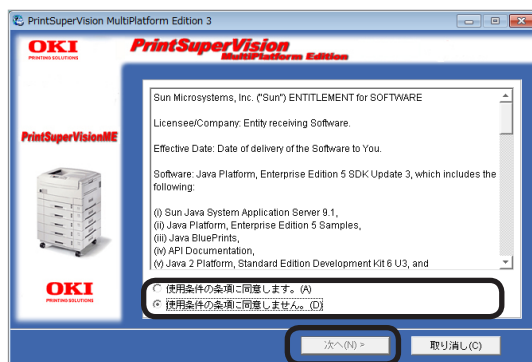


3. J2EE (SunAS9) が検出できなかった場合は、下の画面を表示するので、J2EE を新規にインストールするか、J2EE をインストールしたパスを指定するかを選択し、[次へ] をクリックします。
 - [J2EE をインストールする。] を選択した場合は、4. (6 ページ) へ進みます。
 - [インストール済みの J2EE のパスを指定する。] を選択した場合は 10. (8 ページ) へ進みます。

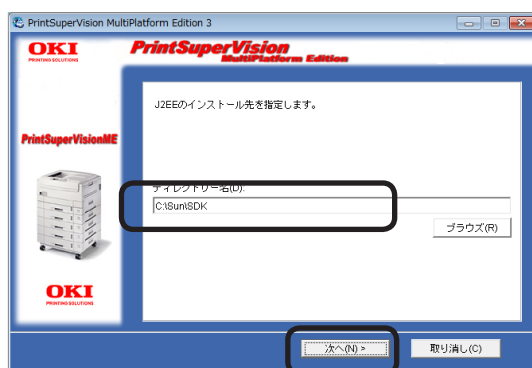
J2EE (SunAS9) を検出した場合は、11. の画面を表示しているので、11. (8 ページ) へ進みます。



4. J2EE のライセンスが表示されるので、内容を確認して、「使用条件の条項に同意します。」を選択し、[次へ] をクリックします。



5. J2EE のインストール先を指定して、[次へ] をクリックします。



6. [次へ] をクリックします。



7. 下の表を参考に、J2EE（SunAS9）の設定を入力、または変更し、[次へ] をクリックします。

入力名	説 明
Admin ユーザ名 (*)	SunAS9 の Admin Console にログインするための Admin ユーザの名前を指定します。
パスワード (*)	Admin ユーザのパスワードを入力します。
パスワードの確認 (*)	確認のため、Admin ユーザのパスワードをもう一度入力します。
Admin のポート番号 (*)	SunAS9 の Admin Console で使用するポート番号を指定します。この値は、通常、変更する必要はありません。
HTTP のポート番号 (*)	PSV ME で使用する HTTP のポート番号を指定します。この値は、通常、変更する必要はありません。
HTTPS のポート番号 (*)	PSV ME で使用する HTTPS のポート番号を指定します。この値は、通常、変更する必要はありません。

(*) が付いている項目の入力は必須です。

J2EE の設定が正しく入力されると、J2EE のインストールを開始します。

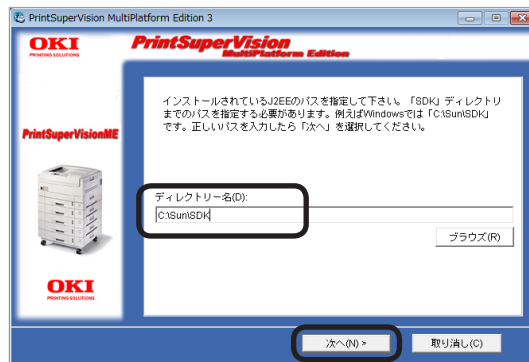
※ J2EE を正常にインストールできない場合は、「7 既知の問題 / 解決方法」(24 ページ) をご覧ください。

8. 「Windows セキュリティの重要な警告」画面が表示された場合は、[アクセスを許可する] をクリックします。

9. 「次へ」をクリックします。



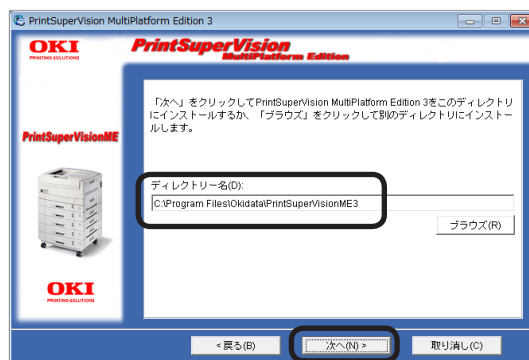
10. 手順5でJ2EE（SunAS9）のインストール先を変更した場合は、下の画面を表示するので、インストールしたディレクトリーを指定し、「次へ」をクリックします。



11. 使用許諾契約をよく読み、「使用条件の条項に同意します。」を選択して、「次へ」をクリックします。



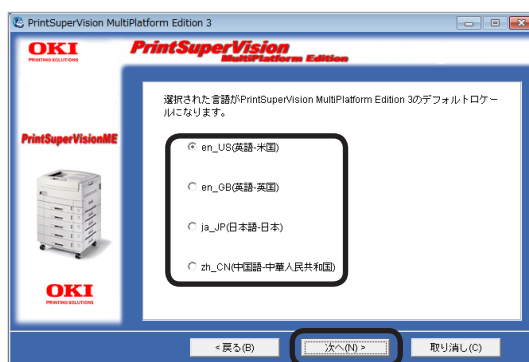
12. PSV ME のインストール先を指定して、「次へ」をクリックします。



13. データベースで使用するポート番号を入力し、[次へ] をクリックします。
通常はポート番号を変更する必要はありません。(初期値は 1528 です。)



14. PSV ME のデフォルトロケールを指定して、[次へ] をクリックします。



15. 以前の PrintSuperVision のデータをインポートするかどうかを指定し、[次へ] をクリックします。
- [PrintSuperVision MultiPlatform Edition のデータをインポートする。] を選択した場合は、19. (11 ページ) へ進みます。



16. 下の表を参考に、PSV ME の管理者の情報を入力、または変更し、[次へ] をクリックします。

入力名	説 明
ユーザ名 (*)	管理者ユーザの名前を指定します。
パスワード (*)	管理者ユーザのパスワードを入力します。
パスワードの確認 (*)	確認のため、管理者ユーザのパスワードをもう一度入力します。
警告メールアドレス	警告機能でメールの送信先となる管理者ユーザのメールアドレスです。
問い合わせメールアドレス	問い合わせ機能でメールの宛先となる管理者ユーザのメールアドレスです。

(*) が付いている項目の入力は必須です。

PrintSuperVision MultiPlatform Edition 3

PrintSuperVision
MultiPlatform Edition

管理者のユーザ名とパスワードを入力してください。パスワードは大文字、小文字を区別します。入力したら「次へ」を選択してください。

ユーザ名: admin

パスワード (最小6文字):

パスワードの確認:

警告メールアドレス:

問い合わせメールアドレス:

< 戻る (B) **次へ (N) >** 取り消し (C)

17. PSV ME で利用可能な機能のレベルを選択し、[次へ] をクリックします。

PrintSuperVision MultiPlatform Edition 3

PrintSuperVision
MultiPlatform Edition

以下からアプリケーションの機能を選択して下さい。選択した項目によって、アプリケーションが表示する画面が変わります。

☐ 容易: プリンタの管理、レポート、ツール。

☐ 専門: 容易・警告、メンテナンス。

< 戻る (B) **次へ (N) >** 取り消し (C)

(注意)

- 各機能レベルで使用可能な機能については、「PrintSuperVision MultiPlatform Edition 操作マニュアル」をご覧ください。
- 「PrintSuperVision MultiPlatform Edition 操作マニュアル」は、沖縄データホームページから入手できます。

18. 下の表を参考に、メールサーバの設定を入力、または変更し、[次へ] をクリックします。
メールサーバは、警告メール機能や問い合わせメール機能で使⽤します。

入力名	説 明
SMTP サーバのアドレス	メールの送信に使用する SMTP サーバを指定します。
SMTP のポート番号 (*)	SMTP サーバが SMTP で使用するポート番号を指定します。この値は、通常、変更する必要はありません。
POP3 サーバのアドレス	メールの受信に使用する POP3 サーバを指定します。
メールアドレス	メール送信時のメールの送信者として使⽤されるメールアドレスです。
メールアカウント名	PSV ME で使⽤するメールのアカウント名です。 SMTP と POP3 の認証時に使⽤します。
メールパスワード	PSV ME で使⽤するメールのパスワードです。 SMTP と POP3 の認証時に使⽤します。
POP3 のポート番号 (*)	POP3 サーバが POP3 で使用するポート番号を指定します。 この値は、通常、変更する必要はありません。

(*) が付いている項目の入力は必須です。

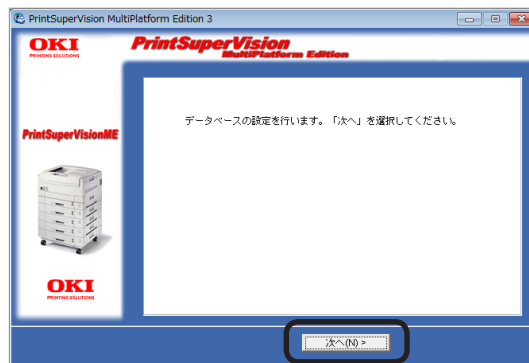


19. [インストール] をクリックします。



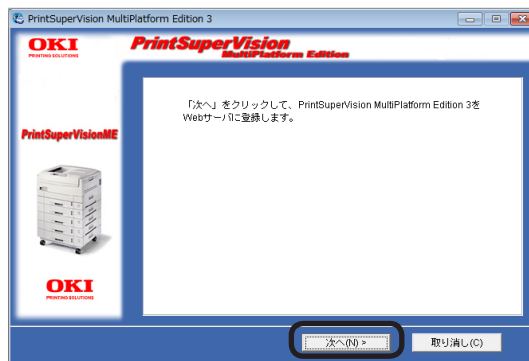
PSV ME がインストールされます。

20. [次へ] をクリックします。



データベースが設定されます。

21. [次へ] をクリックし、PSV ME を Web サーバへ登録します。



22. PSV ME が使用するポート番号に対するアクセスを許可するために、[変更する。] を選択し、[次へ] をクリックします。

[変更しない。] を選択した場合は、PSV ME をインストールした後に、オペレーティングシステムのファイアウォール設定を変更する必要があります。詳しい手順は ReadMe をご覧ください。

(この画面は、Windows 2000、Windows 2000 Server へインストールする時には表示されません。)



23. [終了] をクリックします。



以上でインストールは完了です。

インストールが完了すると、アプリケーションのショートカットがプログラムメニューやデスクトップに配置されます。

各ショートカットの説明は以下の通りです。

ショートカット名	説 明
StartServer3	PSV ME を起動します。
StopServer3	PSV ME を停止します。
PrintSuperVisionME3	PSV ME の Web ページを開きます。
PrintSuperVisionME3 (SSL)	PSV ME の SSL Web ページを開きます。
Readme	PSV ME の ReadMe を表示します。
SSLReadme	SSL Setup Wizard アプリケーションのヘルプを表示します。
SSL Setup Wizard	SSL Setup Wizard アプリケーションを起動します。
Uninstaller	PSV ME をアンインストールします。

(注意)

- ローカルのクライアントから PSV ME へのアクセスについては、管理者が PSV ME がインストールされているアドレス（例えば <http://111.99.99.99:8080/psv3>）を個々に通知する必要があります。
- PSV ME の使用方法是、「PrintSuperVision MultiPlatform Edition 操作マニュアル」をご覧ください。
- 「PrintSuperVision MultiPlatform Edition 操作マニュアル」は、沖データホームページから入手できます。

4 インストール手順（Linux, Solaris）

1. セットアッププログラムを起動します。

Linux の場合

setup.bin というファイルをコンソール上で実行します。

Solaris の場合

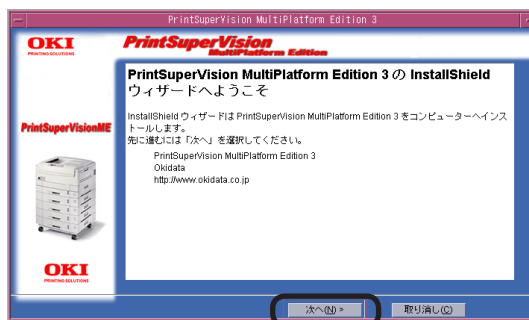
install.bin というファイルをコンソール上で実行します。

- Solaris（x86）へインストールする場合は、x [Enter] と入力します。
 - Solaris（Ultra SPARC）へインストールする場合は、s [Enter] と入力します。
- しばらくすると下の画面が表示されるので、[次へ] をクリックします。



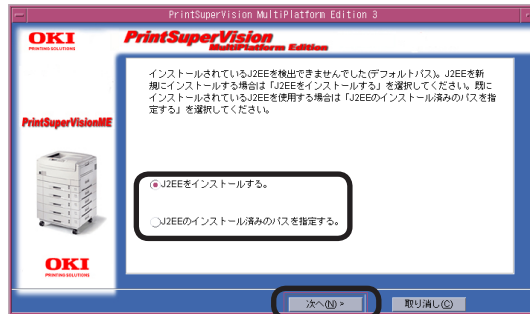
※ Linux/Solaris で正常にセットアップ起動プログラムを実行できない場合は、「7 既知の問題 / 解決方法」（24 ページ）をご覧ください。

2. [次へ] をクリックします。

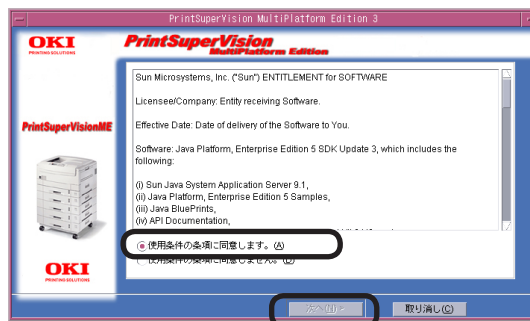


3. J2EE（SunAS9）が検出できなかった場合は、下の画面を表示するので、J2EE を新規にインストールするか、J2EE をインストールしたパスを指定するかを選択し、[次へ] をクリックします。
- [J2EE をインストールする。] を選択した場合は、4. へ進みます。
 - [インストール済みの J2EE のパスを指定する。] を選択した場合は 9.（17 ページ）へ進みます。

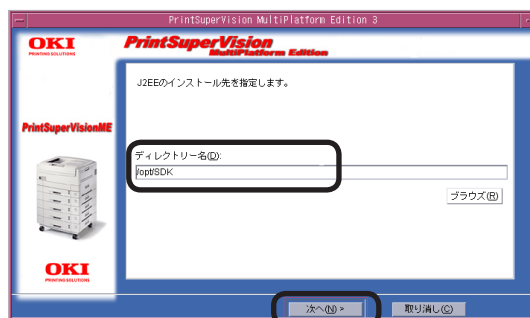
J2EE（SunAS9）を検出した場合は、10. の画面を表示しているので、10.（17 ページ）へ進みます。



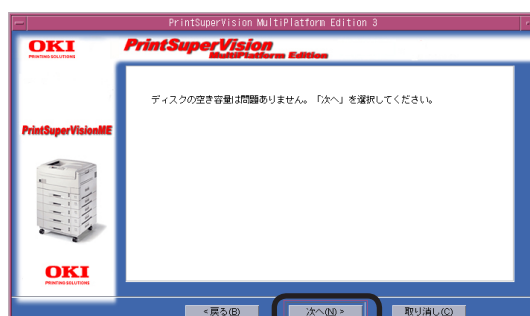
4. J2EE のライセンスが表示されるので、内容を確認して、「使用条件の条項に同意します。」を選択し、[次へ] をクリックします。



5. J2EE のインストール先を指定して、[次へ] をクリックします。



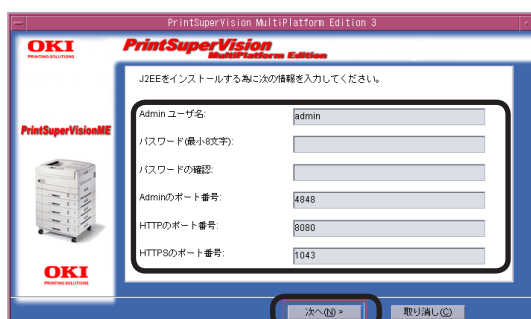
6. [次へ] をクリックします。



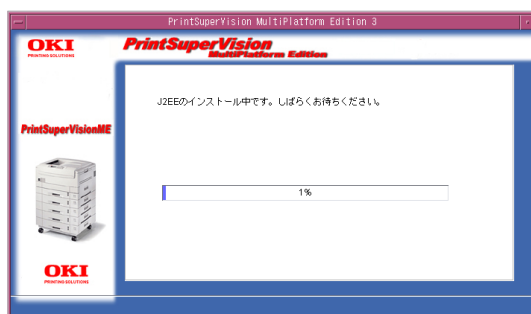
7. 下の表を参考に、J2EE（SunAS9）の設定を入力、または変更し、[次へ] をクリックします。

入力名	説 明
Admin ユーザ名 (*)	SunAS9 の Admin Console にログインするための Admin ユーザの名前を指定します。
パスワード (*)	Admin ユーザのパスワードを入力します。
パスワードの確認 (*)	確認のため、Admin ユーザのパスワードをもう一度入力します。
Admin のポート番号 (*)	SunAS9 の Admin Console で使用するポート番号を指定します。通常はデフォルト値（4848）のまま構いません。
HTTP のポート番号 (*)	PSV ME で使用する HTTP のポート番号を指定します。通常はデフォルト値（8080）のまま構いません。
HTTPS のポート番号 (*)	PSV ME で使用する HTTPS のポート番号を指定します。通常はデフォルト値（1043）のまま構いません。

(*) が付いている項目の入力は必須です。

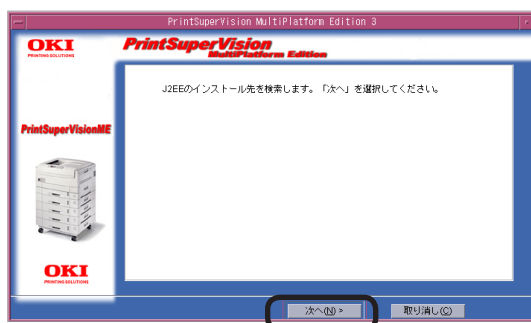


J2EE の設定が正しく入力されると、J2EE のインストールを開始します。

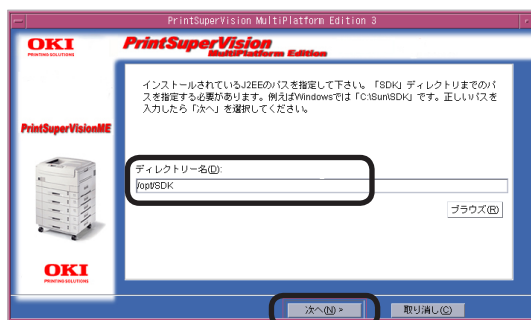


※ J2EE を正常にインストールできない場合は、「7 既知の問題 / 解決方法」（24 ページ）をご覧ください。

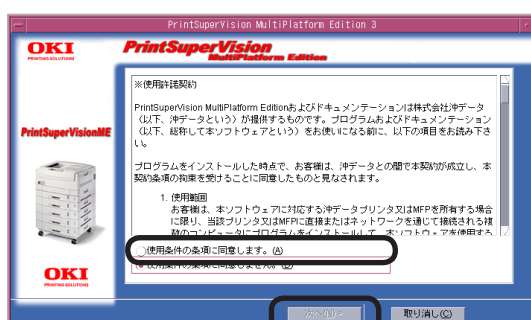
8. [次へ] をクリックします。



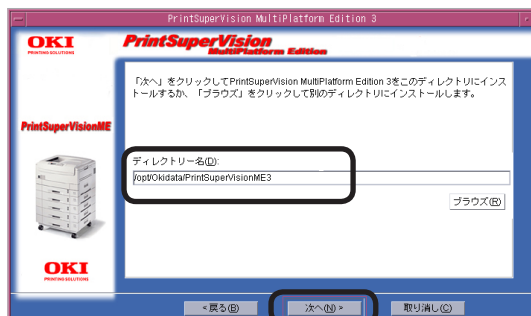
9. 手順5でJ2EE（SunAS9）のインストール先を変更した場合は、下の画面を表示するので、インストールしたディレクトリを指定し、[次へ]をクリックします。



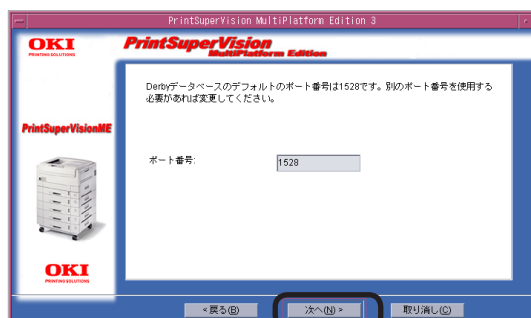
10. 使用許諾契約をよく読み、「使用条件の条項に同意します。」を選択し、[次へ]をクリックします。



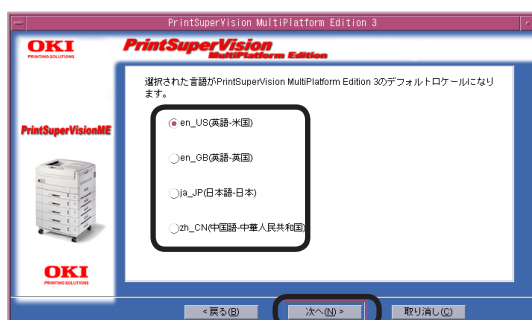
11. PSV ME のインストール先を指定して、[次へ]をクリックします。



12. データベースで使用するポート番号を入力し、[次へ]をクリックします。
通常はポート番号を変更する必要はありません。（初期値は 1528 です。）

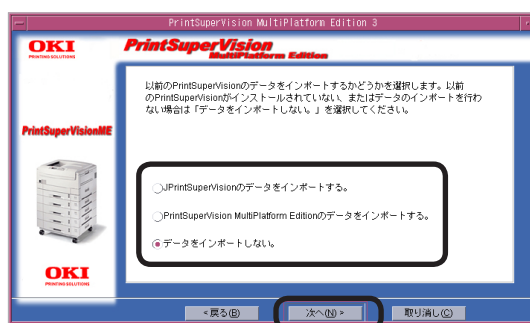


13. PSV ME のデフォルトロケールを指定して、[次へ] をクリックします。



14. 以前の PrintSuperVision のデータをインポートするかどうかを指定し、[次へ] をクリックします。

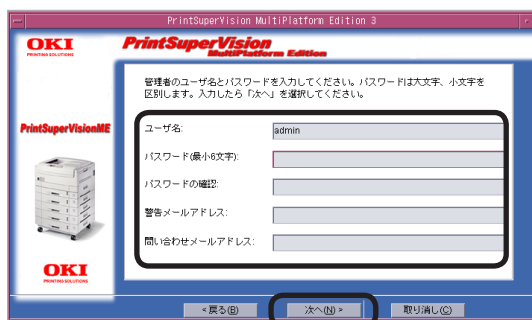
- [PrintSuperVision MultiPlatform Edition のデータをインポートする。] を選択した場合は、18. (20 ページ) へ進みます。



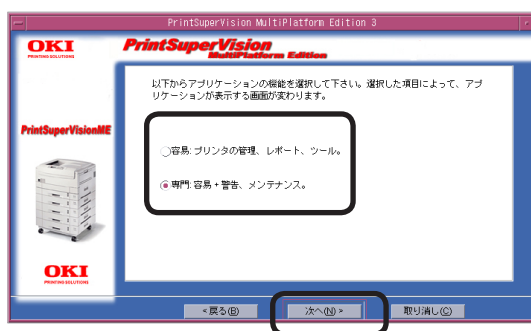
15. 下の表を参考に、PSV ME の管理者の情報をを入力、または変更し、[次へ] をクリックします。

入力名	説 明
ユーザ名 (*)	管理者ユーザの名前を指定します。
パスワード (*)	管理者ユーザのパスワードを入力します。
パスワードの確認 (*)	確認のため、管理者ユーザのパスワードをもう一度入力します。
警告メールアドレス	警告機能でメールの送信先となる管理者ユーザのメールアドレスです。
問い合わせメールアドレス	問い合わせ機能でメールの宛先となる管理者ユーザのメールアドレスです。

(*) が付いている項目の入力は必須です。



16. PSV ME で利用可能な機能のレベルを選択し、[次へ] をクリックします。



(注意)

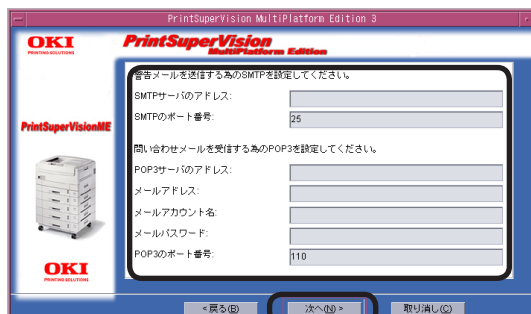
- 各機能レベルで使用可能な機能については、「PrintSuperVision MultiPlatform Edition 操作マニュアル」をご覧ください。
- 「PrintSuperVision MultiPlatform Edition 操作マニュアル」は、沖縄データホームページから入手できます。

17. 下の表を参考に、メールサーバの設定を入力、または変更し、[次へ] をクリックします。

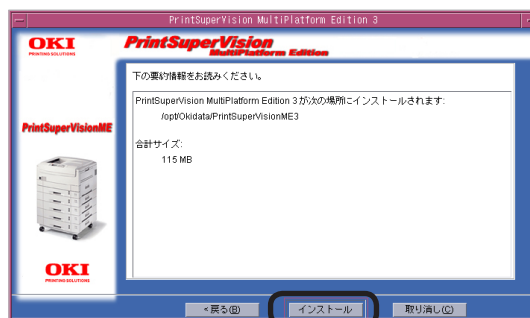
メールサーバは、警告メール機能や問い合わせメール機能で使します。

入力名	説 明
SMTP サーバのアドレス	メールの送信に使用する SMTP サーバを指定します。
SMTP のポート番号 (*)	SMTP サーバが SMTP で使用するポート番号を指定します。この値は、通常は、変更する必要はありません。
POP3 サーバのアドレス	メールの受信に使用する POP3 サーバを指定します。
メールアドレス	メール送信時のメールの送信者として使用されるメールアドレスです。
メールアカウント名	PSV ME で使用するメールのアカウント名です。SMTP と POP3 の認証時に使用します。
メールパスワード	PSV ME で使用するメールのパスワードです。SMTP と POP3 の認証時に使用します。
POP3 のポート番号 (*)	POP3 サーバが POP3 で使用するポート番号を指定します。この値は、通常は、変更する必要はありません。

(*) が付いている項目の入力は必須です。

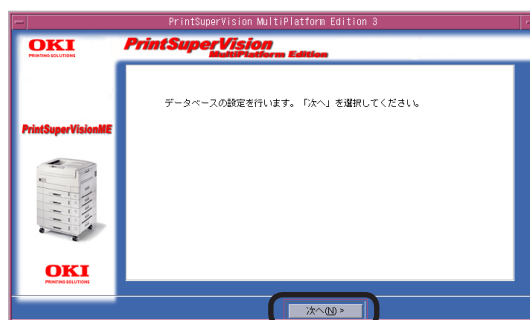


18. [インストール] をクリックします。



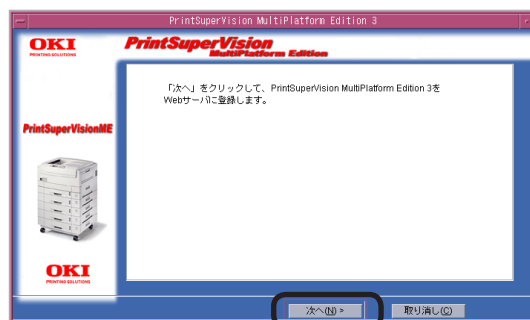
PSV ME がインストールされます。

19. [次へ] をクリックします。

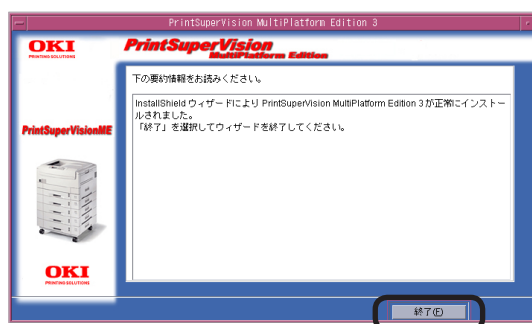


データベースが設定されます。

20. [次へ] をクリックし、PSV ME を Web サーバへ登録します。



21. [終了] をクリックします。



以上でインストールは完了です。

インストールが完了すると、アプリケーションのショートカットがユーザのホームディレクトリに作成されます。

各ショートカットの説明は以下の通りです。

ショートカット名	説 明
StartServer3	PSV ME を起動します。
StopServer3	PSV ME を停止します。
PrintSuperVisionME3	PSV ME の Web ページを開きます。
PrintSuperVisionME3 (SSL)	PSV ME の SSL Web ページを開きます。
Readme	PSV ME の ReadMe を表示します。
SSLReadme	SSL Setup Wizard アプリケーションのヘルプを表示します。
SSL Setup Wizard	SSL Setup Wizard アプリケーションを起動します。
Uninstaller	PSV ME をアンインストールします。

(注意)

- ローカルのクライアントから PSV ME へのアクセスについては、管理者が PSV ME がインストールされているアドレス（例えば <http://111.99.99.99:8080/psv3>）を個々に通知する必要があります。
- PSV ME の使用方法是、「PrintSuperVision MultiPlatform Edition 操作マニュアル」をご覧ください。
- 「PrintSuperVision MultiPlatform Edition 操作マニュアル」は、沖データホームページから入手できます。

5 削除（アンインストール）のしかた（Windows）

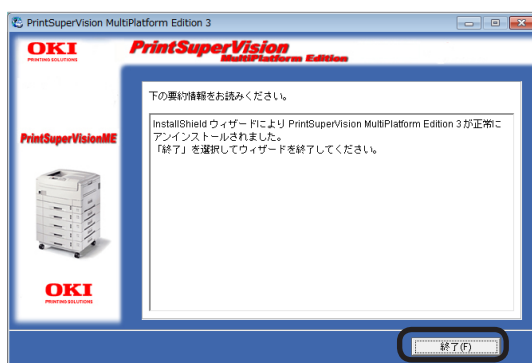
1. [スタート] - [すべてのプログラム]（Windows 2000 / 2000 Server では [プログラム]） - [沖データ] - [PrintSuperVisionME3] - [Uninstaller] を選択します。
2. [次へ] をクリックします。



3. [アンインストール] をクリックします。



4. [終了] をクリックします。

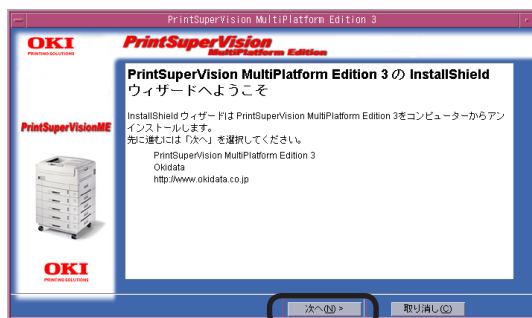


（注意）

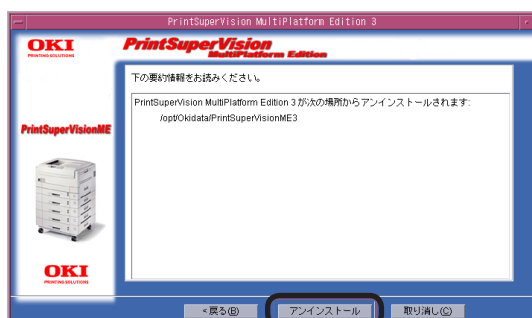
- 削除後、[PrintSuperVisionME3] フォルダが残った場合は、フォルダを削除してください。

6 削除（アンインストール）のしかた（Linux, Solaris）

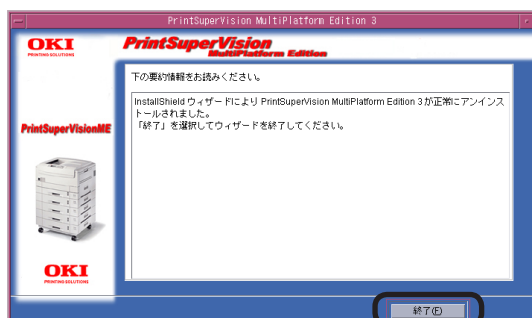
1. 次のどちらかの方法でアンインストーラを起動します。
 - [ユーザのホームディレクトリ] - [沖データ] - [PrintSuperVisionME3] - [Uninstaller] を実行します。
 - コンソール上で `uninspsv.sh` を実行します。
2. [次へ] をクリックします。



3. [アンインストール] をクリックします。



4. [終了] をクリックします。



（注意）

- 削除後、[PrintSuperVisionME3] ディレクトリが残った場合は、ディレクトリを削除してください。

7 既知の問題 / 解決方法

- Windows に PrintSuperVision MultiPlatform Edition をインストールする際、J2EE のインストールに失敗する場合があります。その場合は以下のどちらかの方法で J2EE をインストールしてください。
 1. J2EE (j2ee.exe) を手動でインストールします。
 2. PrintSuperVision MultiPlatform Edition のインストール中で、J2EE のインストール先をデフォルト (C:\Sun\SDK) から変更します。
(Windows が C ドライブにインストールされている場合)
- Windows に J2EE が既に C ドライブ以外へインストールされている場合、PrintSuperVision MultiPlatform Edition が正しくインストールできない場合があります。その場合は J2EE (j2ee.exe) を手動で C ドライブへインストール後、PrintSuperVision MultiPlatform Edition をインストールしてください。
- Linux にインストールする際、J2EE のインストールに失敗する場合があります。その場合は libstdc++-libc6.2-2.so.5 が /usr/lib に存在していない場合がありますので、このファイルをインストールする必要があります。このファイルは、compat-libstdc++xxx.rpm や libstdc++xxx.rpm パッケージに含まれていることがあります。
- Linux にインストールする際、インストーラの実行に失敗する場合があります。その場合は bc が /usr/bin に存在していない場合がありますので、このファイルをインストールする必要があります。このファイルは、bc-xxx.rpm パッケージに含まれています。
- Solaris にインストールする際、Solaris にデフォルトで JavaVM がインストールされていない場合は、J2EE (j2ee.bin) を先にインストールする必要があります。
- Solaris にインストールする際、インストーラの画面が表示されない場合があります。その場合は以下の手順を行う必要があります。
 1. J2EE (j2ee.bin) をインストールします。
 2. Solaris にデフォルトで JavaVM がインストールされている場合は、/usr/java ディレクトリの名前を /usr/java_old に変更します。
例 . [root#] mv /usr/java /usr/java_old
 3. J2EE のインストール先 (デフォルトは /opt/SDK) /jdk のシンボリックリンクを /usr/java に作成します。
例 . [root#] ln -s /opt/SDK/jdk /usr/java
 4. PrintSuperVision MultiPlatform Edition のインストーラを起動します。
- Linux にインストールまたはアンインストールする際、セットアップ起動プログラムが正しく表示されない場合があります。その場合は setup_en.bin または uninpsv_en.sh というファイルをコンソール上で実行し、英語表示のセットアップ起動プログラムを実行してインストールまたはアンインストールしてください。
- Windows に PrintSuperVision MultiPlatform Edition をインストールする際、J2EE のインストールに失敗する場合があります。その場合は以下のどちらかの方法で J2EE をインストールしてください。
 1. J2EE (j2ee.exe) を手動でインストールします。
 2. PrintSuperVision MultiPlatform Edition のインストール中で、J2EE のインストール先をデフォルト (C:\Sun\SDK) から変更します。
(Windows が C ドライブにインストールされている場合)
- Windows に J2EE が既に C ドライブ以外へインストールされている場合、PrintSuperVision MultiPlatform Edition が正しくインストールできない場合があります。その場合は J2EE (j2ee.exe) を手動で C ドライブへインストール後、PrintSuperVision MultiPlatform Edition をインストールしてください。

- PrintSuperVision では、"IPv6" と、"SNMPv3" を同時に使用するプリンタまたは複合機は、サポートできません。PrintSuperVision で、プリンタや複合機を管理する場合は、使用環境を以下のいずれかに設定してください。
 1. IPv4 と SNMPv1 を使用
 2. IPv4 と SNMPv3 を使用
 3. IPv6 と SNMPv1 を使用
- クローニング機能を使用する際、クローニングが失敗する場合があります。
その場合はクローニング先プリンタのネットワークカードの SNMP 設定を確認し、以下のいずれかを設定してから、再び試してください。
 1. クローニング先プリンタのネットワークカードの SNMP 設定が SNMPv1 の場合、プリンタメニュー > 編集 > プリンタ画面の SNMPv3 モードを SNMPv1 に設定してください。
 2. クローニング先プリンタのネットワークカードの SNMP 設定が SNMPv3 の場合、プリンタメニュー > 編集 > プリンタ画面の SNMPv3 モードを SNMPv3 に設定してください。
 3. クローニング先プリンタのネットワークカードの SNMP 設定が SNMPv3+v1 の場合、プリンタメニュー > 編集 > プリンタ画面の SNMPv3 モードを SNMPv3+v1 に設定してください。